

【記入例】

記入漏れ等の不備がある場合は追記が必要となり、支給が遅れる可能性がありますので、提出前に再度内容の確認をお願いします。

様式第一号(第十三条関係)(表面)

(様式1-1)(表面)

生活困窮者住居確保給付金支給申請書

フリガナ	ナハ タロウ
①氏名	那覇 太郎
②生年月日	昭和平成令和〇年〇月〇日 満(〇〇)歳
③電話番号	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

全員
離職・廃業した方

④次の1.又は2.の場合であること (いずれか該当する数字を○で囲んだうえ、該当する方に記載)

1. 離職又は第3条第1号に規定する場合

離職等の時期	令和〇〇年〇〇月〇〇日
離職等した事業所	〇〇株式会社 〇〇支店

2. 第3条第2号に規定する場合

給与その他の業務上の収入を得る機会の減少の状況	コロナウイルス感染拡大防止のため、勤務していた飲食店が営業時間を短縮し、収入が減りました。
-------------------------	---

休職・休業中の方

⑤離職等前に世帯の生計を主として維持していたこと又は申請月において維持していること

離職等前の雇用状況等、世帯の生計の維持にかかる状況	平成〇〇年〇〇月〇〇日から〇〇会社へ勤務し、私が主に世帯の生計を維持していました。
---------------------------	---

全員

⑥次の1.又は2.のいずれかに該当していること (いずれか該当する数字を○で囲んだうえ、該当する方に記載)

1. 住居を喪失していること

住居を喪失した時期	令和〇〇年〇〇月〇〇日
喪失した住居の住所	那覇市〇〇 〇〇丁目〇〇番〇〇号 那覇マンション 〇〇号室
現在の状況	〇〇で寝泊まり

住居を喪失した方

2. 住居を喪失するおそれがあること

現在の住所	那覇市〇〇 〇〇丁目〇〇番〇〇号 那覇マンション 〇〇号室
住居の家主等	〇〇不動産
喪失するおそれのある住居の家賃額	〇〇〇〇〇円
現在の収入状況等、住居喪失のおそれがある理由、状況等	失業中で預金も少なく、家賃が支払えない

住居を喪失するおそれのある方

⑦申請者及び申請者と同一の世帯に属する者の収入及び預貯金が次のとおりであること

フリガナ	ナハ タロウ	ナハ ハナヨ	ナハ イナロウ	
氏名	那覇 太郎	那覇 花子	那覇 一郎	
続柄	本人	妻	長男	合計
生年月日	平成〇年〇月〇日	平成〇年〇月〇日	平成〇年〇月〇日	
収入(月額)	〇〇〇〇〇円	〇〇〇〇〇円	〇〇〇〇〇円	円 〇〇〇〇〇円
預貯金等	〇〇〇〇〇円	〇〇〇〇〇円	〇〇〇〇〇円	円 〇〇〇〇〇円

全員(給与明細や預貯金通帳を
確認しながらご記入ください)

※申請日の属する月の収入(月額)が確実に推計できる場合はその額を、変動あるときは収入の確定している直近3か月間の平均収入を記載する。雇用保険の失業等給付、各種年金等も合算する。

上記の申立事項に相違なく、生活困窮者自立支援法施行規則(以下「則」という。)第13条の規定により、必要書類を添えて生活困窮者住居確保給付金(以下「住居確保給付金」という。)の支給を申請します。

私の個人情報、住居確保給付金の支給並びに臨時特例つなぎ資金及び総合支援資金の融資を行うために必要となる範囲で、則第4条第1項第2号に規定する都道府県等、公共職業安定所、職業安定法(昭和22年法律第141号)第4条第9項に規定する特定地方公共団体、同条第10項に規定する職業紹介事業者であって地方公共団体の委託を受けて無料の職業紹介を行う者、社会福祉協議会及び自立相談支援機関の間で相互利用されることについて了承します。

また、裏面の注意事項について、同意します。

令和 〇 年 〇 月 〇 日

那 覇 市 長 殿

申請者氏 那覇 太郎

申立事項